

「幻日 (げんじつ)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

シューベルトの「冬の旅」(ミュラー詩)の第 23 曲に「幻の太陽」という曲がある。

Drei Sonnen sah ich am Himmel stehn,
Hab' lang' und fest sie angesehen.
Und sie auch standen da so stier,
Als wollten sie nicht weg von mir.

空にある三つの太陽、
私は長い時間それを見つめていた。
太陽はしばらくそこから動かなかつた、
私のもとを去りたくないかのように。



これは「幻日」と呼ばれ、太陽の左右に幻の太陽が出現する「大気光学現象」の一種である。(写真は北極圏ヨックモックで撮影、左側の幻日が写っている)



先日この「幻日」が、学校の校庭からも見えた。



「幻日」は、太陽高度が比較的低い時に、太陽の手前に幕状巻雲や巻層雲などの、上層氷晶雲が架かった時に見られる。実は、太陽を中心に一周する「日暈」の一部が特に明るく見える現象なのだが、幻日のみが見えることも多い。この日の東京は、さまざまな上層雲(変化巻雲)が空全体を覆い、幻日が見えやすい気象条件がそろっていた。



よく見ると、幻日には虹のように色がついている。誠に美しい。太陽と大気が創った美である。